

# 公益社団法人日本理学療法士協会、上田市（長野県）、環境省

## 温泉を活かした健康づくりに関する協定書

公益社団法人日本理学療法士協会、上田市（長野県）及び環境省は、国民保養温泉地に指定された鹿教湯温泉（丸子温泉郷）等において、国民の健康増進に資する事業を展開し、かつ、新たな温泉地の姿を構築するために、「温泉を活かした健康づくりに関する協定」を締結する。

3者はそれぞれ下記の取組を行う。

### 記

1. 公益社団法人日本理学療法士協会は、温泉地を活用した多職種協働型の宿泊型介護予防・認知症予防事業（以下「予防事業」という。）のプログラムの開発に協力する。また、理学療法士による専門的な評価とそれを踏まえた具体的な介護予防・認知症予防の実施について、最大限協力する。
2. 上田市は、市内の各関係施設が予防事業を滞りなく実施できるよう調整を行い、温泉を核とした地域の振興を図るとともに、予防事業の積極的なPRを実施する。
3. 環境省は、温泉の保護と利用の適正化を通じて国民の保健療養に寄与し、国民保養温泉地等の振興・活性化を推進する観点から、予防事業に対し必要な助言を行うほか、予防事業により得られた成果を広く普及・啓発する。

平成28年5月16日

於 環境省

公益社団法人理学療法士協会 会長

中田一登

上田市長

中田一登

環境省 自然環境局長

奥立喜美